

診療局：放射線技術科

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
技術科長	小西 康彦
参 事	坂下 恵治
技術科長代理	飯塚 明寿
主 幹	2 名
主 査	9 名
技 師	11 名

－概要－

<基本方針>

放射線技術科の基本方針として、以下の1～6に対する貢献を挙げている。

1. 医療における質の向上
2. 医療における安全担保
3. 患者満足度向上
4. チーム医療
5. 経営改善
6. 地域社会活動

特に、緊急検査への対応力を最重要課題と位置づけ、時間外でも、MRI検査・心臓カテーテル検査・脳血管造影検査等が速やかに実施できる体制を構築してきた。

<私たちの目指す診療放射線技師>

私たちは、様々な検査において画像診断機器を操作するだけでなく、診療・治療の流れを理解し次の医療行為を予測できる診療放射線技師の育成を目指している。救命救急の場面においても、冷静な判断のもと専門的知識を生かした行動、他職種との協力ができる診療放射線技師の育成を目指している。

そのためには、誰もが同じ理解で同じ行動ができるように手順のマニュアル化、進歩する医療技術へ対応していくための自己啓発と学習、チーム医療として他職種とのコミュニケーションを図ることが重要になってくる。

全ての最新画像診断機器を揃えることは困難だが、最新技術を創造し地域医療に貢献していきたいと考えている。また、ひとに接する職業人として、人の痛み・悲しみ・喜びがわかる人間でありたいと思っている。

－実績－

<装置稼働実績・学術活動>

装置稼働実績は中央放射線部のページに掲載のとおり。
学術活動は研究業績のページに掲載のとおり。

<認定資格等>

当院の診療放射線技師の有する認定資格は以下のとおり。

資 格	人数
第1種放射線取扱主任者	4 名
第1種作業環境測定士（放射性物質）	2 名
衛生工学衛生管理者	1 名
医学物理士	1 名
放射線治療専門技師	1 名
放射線治療品質管理士	2 名
消化器内視鏡技師	1 名
検診マンモグラフィ撮影技師	5 名
X線CT認定技師	2 名
肺がんCT認定技師	1 名
MR専門技師	1 名
救急撮影認定技師	2 名
医療情報技師	4 名
医用画像情報専門技師	1 名
放射線管理士	3 名
放射線機器管理士	4 名
医用画像情報管理士	7 名
臨床実習指導者	4 名
A I 認定診療放射線技師	1 名
日本D-MAT	1 名
大阪D-MAT	1 名

<施設認定>

マンモグラフィ検診施設画像認定

救急撮影認定技師実地研修施設認定

<研修・実習の受け入れ>

・実地研修

2013. 10 月-12 月：救急撮影認定技師 14 名

・学生実習

2013. 4月-7月：清恵会第二医療専門学院 1名

2013. 9月：大阪物療大学 2名

2013. 12月-2014. 3月：清恵会第二医療専門学院 2名

<2013年度の動き>

泉州救命救急センターとの統合により、3次救急に対する業務が新たに加わった。循環器疾患や脳卒中等の受け入れ窓口が一本化され、新たなワークフローによる救急診療が開始された。これらに対応するため、救急に関する勉強会（毎月定例）や自己研鑽のための発表会を開催した。

画像診断機器では、3TのMR装置が導入され、最新技術を用いた画像を提供できるようになった。